

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第16回相模原市在宅医療・介護連携推進会議			
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進課 電話042-769-9250(直通) 医療政策課 電話042-769-9230(直通)			
開催日時	令和3年3月4日(木)～3月18日(木)			
出席者	委員	21人(別紙のとおり)		
	事務局	/		
	その他	/		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため			
会議次第	<p>議 題</p> <p>(1) 部会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携体制等に関する部会について <p>(2) 在宅医療・介護連携事例等発表会について(報告)</p> <p>(3) 在宅医療・介護連携従事者相談窓口の相談状況について(報告)</p> <p>(4) アウトリーチ検討会について</p> <p>(5) 在宅医療・介護連携推進事業の取組について</p> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年中における救急の概要(速報値) ・健康福祉局組織改編について 			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の意見、 は事務局の回答)

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

議 題

(1) 部会の報告

- ・連携体制等に関する部会について
意見等特になし。

(2) 在宅医療・介護連携事例等発表会について(報告)

- 内容はとても示唆に富んだ良いものだったと思う。特に人選が良かった。お立場ごとの課題や取組みがはっきり見えて、理解もしやすかったと思う。ひとつ残念だったのは、「看取り」というテーマの割に介護職の参加が少なかったこと。現場の方々にもいろいろ考える機会にしてほしかった。
- 包括として要支援者とかかわる中で「今後どうしていきたいか」を日頃からコミュニケーションをとっていく必要があると感じた。人生会議のとり組み等研修があると良いと思う。
- 三者の立場からとてもわかりやすい事例発表だった。ACPへの介入については、医療と介護ではまだまだ温度差、考え方の違いがあると思う。
今後も機会を捉えて人生会議の周知等に努めていく。また、引き続き参加者募集の働きかけなどご協力をお願いする。

(3) 在宅医療・介護連携従事者相談窓口の相談状況について(報告)

- 対応内容が「相談します」で終わっているケースについて、相談する側からすると、『相談してよかった』が次の相談に繋がる。『相談してみます』の後にどうなったかが気になる。もちろん可能であればだが、『(紹介先に) 連絡してみてどうでした? 』というフォローがあると、その帰結を知ることできるし、次の相談にもつながっていくと思う。
従事者相談窓口の相談員からも追跡調査したい旨の提案があったところ。可能な範囲でその後の状況を調査し相談対応のサービス向上を図っていきたい。
- 件数は多くはないが、市民も含めた多施設より相談があり、今後、認知度が上がるともっと活用されると思われる。
- 在宅医療・介護連携支援センターのリーフレットは概要がわかるものとして大変役に立つと思う。今後、実績も合わさってくると更なる相談窓口として機能されると思う。

従事者相談窓口の活用事例などの周知などPRに努めていく。

(4) アウトリーチ検討会について

- 参加対象者に、訪問看護等の看護師が入っていないのはなぜか。是非共有すべき内容だと思う。

今回は初めての開催で、人数や対象を限定したが、次回開催する場合は、御意見を参考に対象者を検討する。

(5) 在宅医療・介護連携推進事業の取組について

- あんしんリンクについては、ここで歯科医師会、薬剤師会の情報が新たに加わったこともあるので、改めてしっかりとPRすることが大事である。

さらなる機能向上や活用促進を図るために、あんしんリンクに歯科診療所と薬局の情報を3月から掲載したので御活用いただきたい。

- 今後について、これからの動向によりますが、ケアマネジャーには利用者・家族のコロナ感染や濃厚接触、その後のケアの確保など、非常に大きな不安がのしかかっている。在宅利用者が濃厚接触者で検査結果が出るまでの間や、病床ひっ迫の状況において、軽症の陽性者が自宅療養を余儀なくされた場合など、ケアを提供してくれる事業所が一つもなければケアマネが行かなければならないのか。ここに説得力のある答えを出せるような取り組みがあってほしいと思う。

介護サービス事業所が新型コロナウイルス感染の懸念を理由にサービスの提供を拒むことはできません。正当な理由なくサービス提供を拒否する場合には、指導対象となるので、市にご連絡ください。

- 年々高齢人口も増加し、救急をとりまく環境も変化していると思われるため高齢者救急に関する部会も半年に一度程、開催したほうがよいのではないか。

今年度はコロナ禍で開催できなかった。次期（令和3年度以降）については部会を開催していきたい。

(6) その他

・令和2年中における救急の概要(速報値)

- 救急搬送の原因別・場所別にデータを検証したい。
- 救急件数および搬送人員が減少に転じた理由等の記載が欲しい。

現状原因別・場所別の集計はしていない。また、分析されたことではないが、全国的な傾向と同様に、コロナ禍において外出の自粛や感染症防止対策などが徹底されたことがひとつの要因として推測される。

・健康福祉局組織改編について

意見等特になし。

以上

(別紙)

令和2年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議 委員名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	伊勢田 明子	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
2	井出 道也	一般社団法人相模原市医師会	会長	出席
3	臼井 意	さがみはら介護支援専門員の会	職務代理 1	出席
4	大塚 小百合	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	副会長	出席
5	佐藤 隼	相模原地区訪問リハビリテーション連絡会		出席
6	澤田 弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
7	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
8	田代 真士	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		出席
9	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
10	谷 えみ子	高齢者支援センター（地域包括支援センター）		出席
11	中野 太郎	公益社団法人相模原市病院協会		出席
12	早田 栄	高齢者支援センター（地域包括支援センター）		出席
13	久松 信夫	学識経験者（桜美林大学）		出席
14	日高 明夫	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
15	比留間 由美子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
16	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
17	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席
18	八木 克介	相模原市認知症高齢者グループホーム連絡会		出席
19	矢口 君代	高齢者支援センター（地域包括支援センター）		出席
20	渡辺 加代子	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席
21	佐藤 聡一郎	連携体制等に関する部会	部会長 1	出席

(敬称略、50音順)

1 連携体制等に関する部会